

平成 17 年度適正計量管理主任者講習に参加して

11月の計量強調月間の活動の一環として、薬業年金会館で適正計量管理主任者講習会が開催されました。適正計量管理事業所で活躍する計量士の補佐として計量管理に携わる、もしくはこれから活動する適正計量管理主任者などを対象に、計量への知識・技術の向上を図るために、10月26日に流通部門76名、10月27,28日に生産部門240名の全316名もの方々が参加されました。

今年も例年どおり社団法人・日本計量振興協会、社団法人・大阪府計量協会、大阪市計量協会の共催のもと盛大なものとなりました。

流通部門では、3項目「計量法概要および最近の動向 / 講師：大阪府計量検定所技士 難波浩様」、「商品量目制度 / 講師：大阪府計量検定所主査 高橋徹様」、「流通業における計量管理 / 講師：大阪計量士会会長 吉村良次様」、

生産部門では4項目「計量法概要および最近の動向 / 講師：大阪府計量検定所技士 難波浩様」、「計量器概論 / 講師：(独)産業技術総合研究所大阪扇町サイト 井上太様」、「質量計の概論 / 講師：株式会社クボタ 竹中昌英様」、「計量管理の実務とノウハウ / 講師：(社)日本海事検定協会 白石貢様」の各講義が行なわれました。



「計量法概要および最近の動向」の講義では、計量法の歴史の説明から始まり、計量関係機関の紹介、法の説明などが講義されました。初心者には厄介な法の解釈の仕方も、講師の方の主観も混ぜてあり、より身近なものとして感じられ、またテキストやプレゼン資料を織り交ぜ、実例などを使いわかりやすく説明されていました。

生産部門で講義された「質量計の概論」の株式会社クボタ様の講義、さすがに秤のメーカーだけあって計測の原理、電子式秤の原理などビジュアル的に解説され、その内容は大変理解しやすく有意義な時間となったと思います。

生産部門の講義において、今年は日本海事検定協会の方を講師に招き、実際に行なっている計量管理の業務を紹介いただきました。他の企業ではどのような計量管理を行っているのかを知ることができ、自らの計量管理にも役立てられるように学べたことと思います。

平成6年度から継続して開催されている本講習会は構成もよく吟味されており、トップにある計量法から実際の管理まで一貫して学べる濃い内容となっています。今後とも参加していただき、正しい計量の知識と技術を向上させていきましょう。

運営委員 (K.K)

以上